



2023登米の冬 おなかもこころもほっこりフェアを開催しました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

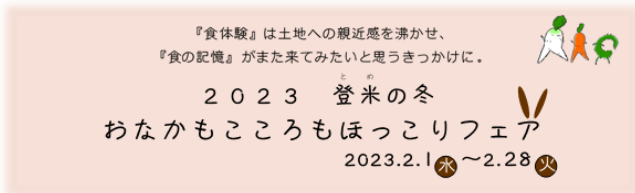
令和5年2月1日(水)から2月28日(火)まで、「食の魅力」を「観光」に活用する仕組みづくりを目的に、「2023登米の冬 おなかもこころもほっこりフェア」を開催しました。

このフェアは食材の宝庫である登米市の魅力ある食アイテムを活用し、食で登米地域を元気にしたいという地元飲食店と協働した取組です。市内3飲食店（coFFee doctors，精進スイーツ結び，HAIJI）の料理人が腕を振るい、登米市産食材を余

すところなく使い、体にも環境にも優しい料理を提供しました。

多くの方に購入していただき、登米市産食材の魅力を知っていただける機会になりました。

当事務所では引き続き食を通じた登米地域のPRに取り組んでいきます。



フェアのメニュー

令和4年度登米・栗原・気仙沼地区就職指導研修会を実施しました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

令和5年2月16日(木)に、令和4年度登米・栗原・気仙沼地区就職指導研修会を実施しました。

この研修会は、登米・栗原・気仙沼管内の教員を対象に、就職指導の浅い教員の指導力の向上を図ることを目的としています。

当日は登米と栗原の2コースに分かれ、登米コースは(株)北光 南方工場，マルニ食品(株)，トヨタテツ東北(株)の3社で企業訪問及び情報交換会を行いました。

参加者からは「実際に企業を見学し、社員の方のお話を聞いて良かった、今後の進路指導に活かしたい」などの感想をいただきました。



研修会の様子

地域計画ワークショップを開催しました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部

農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律が令和4年5月に成立し、各市町村は将来の地域農業の姿を描いた「地域計画」を令和7年3月末まで策定することが求められております。

このため本県では、県内4地区で「地域計画」策定に向けた支援を行うこととし、登米市においては、市と連携して中田地区（旧中田町域）を対象に支援を行うことになりました。その後、中田地区の農業委員等の皆様からご意見をいただいた結果、中田地区のうち、まず、石森地区及び浅水地区を対象としてワークショップ（話し合い）を行うこととなり、令和5年2月に2回のワークショップを開催しました。

ワークショップにおいては、登米市中田町石森地区と浅水地区の2地区の農業者と中田町内農業委員や関係機関職員等が参加しました。

各グループには、全体のコーディネーターのほかにサブリーダーとして普及センターや登米市、農業委員会事務局職員を配置し、『地域農業の課題・現状抽出』『各地域の将来のあり方』『課題解決策』などについて話し合いを行いました。

また、関係機関職員はオブザーバーとして各グループの話し合いを見守り、今後の話し合いに備えて、その進行などについて確認していました。

各ワークショップで出された意見は、協議の結果として取りまとめられ、今後策定される中田地区の地域計画に反映される予定です。

令和5年度からは、登米市各地域においてこのような話し合いが行われる予定です。基本的には各地域の農業者を広く参集し、話し合いを行う予定ですが、参加依頼があった際には、ぜひ積極的に参加していただき、地域の農業や農地のあり方についてご意見をお寄せいただくようお願いいたします。



ワークショップの様子

～公式InstagramとTwitter「ほっとめーしょん」 で登米地域の“ほっと”な情報を発信中です～

おすすめの食べ物や景色、施設のほか、季節のおすすめスポットなど、登米地域の様々な魅力情報を職員目線で発信しています。

投稿内容は、「ほっとめーしょん」で検索していただくか、下のQRコードよりご覧ください！



Instagram



Twitter



市の担当者と繁殖牛の飼養状況を巡回確認しました

宮城県東部家畜保健衛生所

登米市では肉用牛生産基盤の維持・拡大を目的として、登米市が繁殖雌牛を購入し、市内の和牛繁殖農家に貸付、譲渡等を行う「登米市高齢者等肉用牛貸付事業」を実施しています。

平成30年度から令和3年度に、登米市が繁殖農家67戸に対して貸し付けを行った肉用繁殖牛97頭を対象に、令和5年2月28日から3月3日にかけて、登米市農政課の担当者と共に、飼養状況の巡回確認を行い、飼養管理技術向上に向けた支援を行いました。

飼養状況の確認は、①繁殖雌牛の「ボディコンディション（太り具合）」、②給与している「粗飼料の品質」、③牛舎・牛房の「衛生管理状況」、④「糞尿処理の状況」をチェックするとともに、分娩状況など繁

殖成績についても確認しました。その結果、牛房の清掃間隔が長く衛生管理が悪い、飼料を与えすぎて繁殖牛が太りすぎているなど、改善が必要な生産者もいましたが、ほとんどの方が適切な飼養管理を実施していました。

この巡回確認を通し、登米市の和牛繁殖農家の飼養管理の良さに加え、登米市職員による熱意ある生産支援が、登米産仙台牛の品質向上、本州一の肉用牛生産頭数につながっているのだと感じました。

東部家保は、今後も関係機関と連携し、登米市の肉用牛生産基盤の維持・拡大に向けた支援に取り組んでいきます。



生産者から飼養状況等を聞き取り



繁殖雌牛のボディコンディションを確認

特定家畜伝染病発生時等の防疫措置に関する協定書の手交式が行われました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部

令和4年12月26日に、登米合同庁舎で東部地方振興事務所登米地域事務所と宮城県建設業協会登米支部による「特定家畜伝染病発生時等における東部地方振興事務所登米地域事務所管内の防疫措置への協力業務に関する協定書」の手交式が行われました。

高病原性鳥インフルエンザや豚熱等発生時の迅速かつ円滑な防疫対応を確保するため、既に平成22年11月

1日に地域協定が締結されていますが、これまで作業上課題となっていた「事前に埋却溝の試掘を行えることや、殺処分をした家畜を袋詰めする際の補助を行えること」が新協定書に追記されたものです。

近年頻発している特定家畜伝染病に備え、更なる組織体制等の強化を図り、迅速な防疫措置に努めてまいります。



新協定書手交式の様子（1）



新協定書手交式の様子（2）